

キャベツ

コナガ

発生の動向

- 1 令和2年の5月中旬の産卵は、確認されなかった（平年30.2%、図1）。
- 2 幼虫の時期別発生圃場率は、おおむね平年並に推移したが、9月に平年より高くなった（図2）。

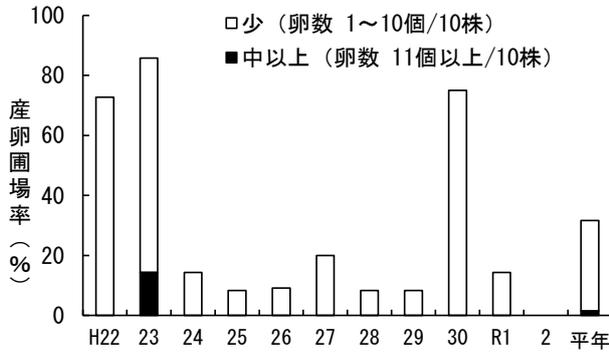


図1 5月中旬のコナガ産卵圃場率の年次推移

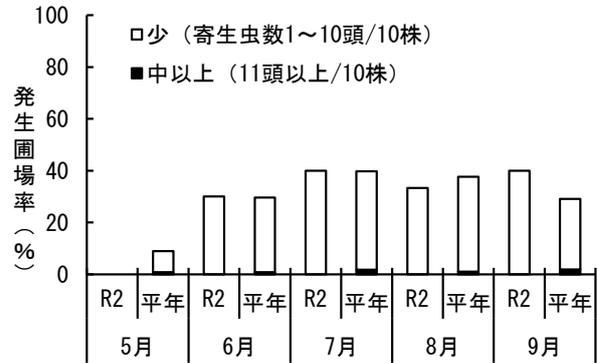


図2 コナガ幼虫の時期別発生圃場率

防除対策

- 1 本種は本県露地での越冬は難しいと考えられるが、育苗施設内に雑草等がある場合は越冬している可能性があるがあるので、育苗開始前に除去する。
- 2 セル苗へのかん注処理や定植時の粒剤施用に、茎葉散布を組み合わせた防除を行う。
- 3 ジアミド系殺虫剤抵抗性コナガによる被害拡大を防ぐため、ジアミド系殺虫剤の使用はかん注処理を含めて1作型1回を厳守すること。
- 4 ジアミド系殺虫剤による防除を実施しても、食害が認められる場合には、直ちに、他系統の薬剤による防除を行う。
- 5 早春まき、春まきキャベツではフェロモントラップを利用した防除開始時期の予測法（図3）を活用して、効率的防除に努める。

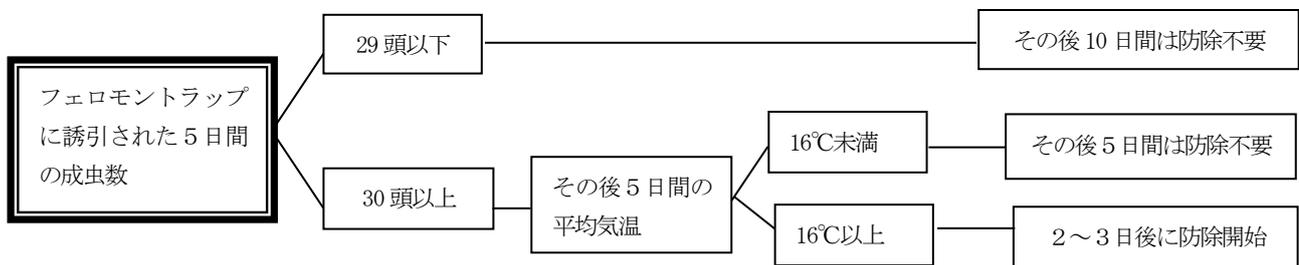


図3 フェロモントラップを利用したコナガ防除開始時期の予測